

令和7年度 6月～開講分
リカレント研修

リカレント・ 地域貢献

コース一覧



京都府生涯現役クリエイティブセンター

ソーシャルビジネス人材育成コース

POINT.1 身につく知識とスキル

仕事だけでなく、地域づくりでも欠かせない

- ・ファシリテーションスキル
- ・クリエイティブシンキング(発想法)
- ・プレゼンスキル

などのソーシャルスキルが身に付きます。

POINT.2 学びをフルに活かしてみよう!

本業はもとより、複(副)業先や地域でここで得た知識やスキルを活用していただくことを期待しています。

研修趣旨・受講目的

人生100年時代の「働き方」や「生き方」の多様化の社会的背景や事例を学ぶと共に、地域公共人材、とりわけソーシャルビジネス人材(ローカルゼブラ人材やパラレルキャリア人材を含む)が持つべき、アイデア・問いの作り方、ファシリテーションの技法、プレゼンテーションの技法、などポータブルスキルを修得できる機会を設けます。また、ゲストスピーカーを1名招聘し、実際に取り組まれている事例についてお話いただきます。

※ローカルゼブラ…

事業を通じて地域課題解決を図り、社会的インパクト(社会に対する良い変化)を創出しながら、収益を確保すること

※パラレルキャリア…

本業を持ちながら、収入や自己実現を目的とした複数の活動(副業、ボランティア、地域貢献等)を並行して行う働き方

研修講師



福知山公立大学
地域経営学部
准教授

杉岡 秀紀氏

研修講師からの メッセージ

私はこれまで公務員(内閣官房 行政改革推進本部)、企業(株式会社GIZA)、NPO(きゅうたなべ倶楽部・同志社大学産官学連携支援ネットワーク)、大学(京都府立大学・福知山公立大学)でセクターを超えて働いてきました。そうした視野や経験、エッセンスをこの研修で活かしていきます。

求める受講生

地域公共やソーシャルに深く関わる中小企業、自治体、NPO等の職員のうち、スキルアップに関心がある方。とりわけ、ローカルゼブラ(地域課題解決)、パラレルキャリア、企業の社会貢献、キャリア形成に関心がある方

日程	概要	会場
6月30日(月) 13:30-16:30	人生100年時代の地域公共とローカルゼブラ、パラレルキャリア	京都経済センター
7月14日(月) 13:30-16:30	ファシリテーションの技法	第八長谷ビル
8月1日(金) 13:30-16:30	クリエイティブシンキングの技法(発想法)	
8月29日(金) 13:30-16:30	ゲスト講義(ゼブラ×地域) ゲストスピーカー:株式会社ウエダ本社 王 智英氏	京都経済センター
9月19日(金) 13:30-16:30	プレゼンの技法	

事前に受講しておきたい **KYO育tv.**
KYO育tv.コンテンツ

・「副」業から「複」業へ ～パラレルキャリアによって叶える自己実現と社会貢献～

農業分野での活躍を目指す

京都府農林水産部所管

無料※

定員:20名

※保険料等が必要となります。

POINT.1 身につく知識とスキル

野菜の種まきから収穫までの栽培技術を学びながら、就農に必要な知識や情報を収集することができます。

POINT.2 学びをフルに活かしてみよう!

就農や農業法人への就職等、農業分野での活動に繋がります。

研修趣旨・受講目的

ベテラン農家や農業大学校職員から栽培に関する知識や技術について、講義やほ場での実習指導を受け、受講生それぞれが畑で栽培を実践することで、種まきから収穫までの生きた農業技術を学び知識を習得できます。就農へのイメージを高めるため、新規に就農された先輩農業者や、就農希望者を地元でサポートされた方々から体験談や講話を聞くことができます。

※日程や内容を変更する場合があります。

※保険料等が必要となります。

求める受講生

ここ数年の間に就農（農業法人への就職を含む）を目指している方で、概ね65歳未満の方

研修講師

農業大学校教員、農家等



日 程	概 要	事 前 課 題	会 場
令和7年 8月～11月頃 13:00-16:10 (予定)	開講式 実践農家による講義 畑の準備と種まき作業	【講 義】 「野菜栽培の要点」 【実 習】 「畑の準備と種まき作業」 ○秋野菜の種まき ○葉ボタン定植	京都府立 農業大学校
	講義 秋野菜の初期管理	【講 義】 「病害虫対策・農業の 使い方」 【実 習】 「秋野菜の初期管理」 ○間引き、追肥、タマネギは種 ○ハクサイ定植	
	トラクターの安全な操作法 秋野菜の中間管理	【実 習】 「トラクターの安全な操作法」 「秋野菜の中期管理」 ○中耕、追肥、病害虫診断ほか	
	草刈り機の安全な使い方 秋野菜の管理、収穫作業	【実 習】 「草刈り機の安全な使い方」 「秋野菜の管理、収穫作業」 ○除草、収穫など	
	秋野菜の収穫作業 農業法人就業者、独立自営就農者等をまじえた座談会 閉講式	【座談会】 「農業を始めてみて」(仮)	

- ・上記の概要、会場については、令和6年度の内容を記載しています。本年度の詳細は未定となっておりますのでご了承ください。
- ・本年度の開催につきましては、詳細決定次第、京都府立農業大学校のホームページ(<https://www.pref.kyoto.jp/kyonodai/>)にて募集開始および応募受付の告知を致します。

ご案内

京都府では、農業で生計を立てることを目指す方に対して、農業法人で農作業の支援や経営改善に寄与する人材から自立的農業経営者まで、広く農業に従事する人材を育成するため各種研修メニューを提供しています。就農相談会、農業体験、インターンシップ、農業経営力向上講座等、希望に合わせて選択いただけます（ご希望に沿った受入先をご紹介できない場合もありますのでご了承ください）。また、「将来農業に携わりたいが、何から始めたらいいかわからない。」といった農業を始めるにあたっての様々な疑問や不安をお持ちの方に向けた相談窓口「農林水産業ジョブカフェ」も設置しています。

お問合せ先

本コースに関心のある方は、以下お問合せ先までご連絡ください。
京都府農林水産部経営支援・担い手育成課
TEL:075-414-4912 FAX:075-414-5039

受講生Voice



■知識がゼロの状態からでもわかりやすく、面白かったです。農業の良いところだけでなく、難しいところや厳しいところも本音で話してくださるので、そこが良かったです。

福祉人材育成コース

介護に関する 入門的研修

※テキストはウェブ上での提供です。
印刷物をご希望の方は、印刷代及び
郵送代をご負担いただきます。

POINT.1 身につく知識とスキル

介護に係る基本的な知識及び技術
取得できる資格：介護に関する入門的研修修了
及び京都市支え合い方ヘルプサービス従事者

POINT.2 学びをフルに活かしてみよう！

研修修了者は京都府福祉人材・研修センターに
登録し、介護の仕事に就くための就労支援を受け
ることができます。
なお、介護未経験でも自分に合った時間で働ける
「介護助手」のお仕事もあります。

研修趣旨・受講目的

本研修は、介護の仕事に関心のある未経験の方が、仕事に携わる
うえでの不安を払拭し、短期間で基本的な知識や技術を習得して
いただくことで、現場でご活躍いただくための入門コースです。

※日程や内容を変更する場合があります。

※通信料はご自身でご負担ください。

求める受講生

介護の仕事に関心を持っている方（京都府内に通勤又は通学して
いる方）又は京都市内の介護施設に就労を希望する方

研修講師

一般社団法人京都市老人福祉施設協議会



日 程	概 要	会 場
7月～9月頃 (予定)	第1章 介護に関する基礎知識 高齢者社会の現状／介護に関する相談先／介護保険制度の概要／仕事と介護の両立	オンデマンド 受講
	第2章 介護の基本 介護とは何か／介護を必要とする人との接し方／介護を行うための視点、基本知識・技術／ ボディメカニクスの活用	
	第3章 基本的な介護の方法 介護職の役割や専門性／支え合い型ヘルプサービスについて／生活支援の技術（身体+生活）／ 老化の理解	
	第4章 認知症の理解 認知症の基本的知識／認知症の中核症状と行動・心理症状／家族への支援	
	第5章 障害の理解 障害の基礎的理解／障害の医学的側面／家族の理解、かわり支援の理解	
	第6章 介護における安全確保 介護における安全の確保とリスクマネジメント／介護職の安全	
9月(予定)	介護実技デモンストレーション(希望者のみ)	京都経済 センター (予定)

本年度の申込み及び開催時期等につきましては、詳細が決定次第、一般社団法人京都市老人福祉施設協議会のホームページ
(<https://kyoto-srk.jp/kouza/>)にて募集開始及び応募受付の告知をいたします。
本コースの募集は6月下旬～9月頃を予定しています。

お問合せ先

本コースに関心のある方は、以下お問合せ先までご連絡ください。
一般社団法人京都市老人福祉施設協議会
TEL:075-354-8733 HP:<https://kyoto-srk.jp/>

子育て支援の現場での活躍を目指す

京都府健康福祉部所管

無料

子育て支援員養成コース

定員:各コース30~60名

POINT.1 身につく知識とスキル

保育所や子育て支援施設などに従事する上で、必要な知識や技能等を修得することができます。研修の修了者を全国で通用する「子育て支援員」として認定し、「修了証」を交付します。

POINT.2 学びをフルに活かしてみよう!

- ① **地域保育コース**:小規模保育や家庭的保育(保育ママ)、事業所内保育、一時預かり等の保育士の補助をはじめ、ファミリー・サポート・センターで提供会員として従事することができます。
- ② **地域子育て支援コース**:保育所やNPOなどが行う地域子育て支援拠点で従事することができます。
- ③ **放課後児童コース**:放課後児童クラブ(学童保育)で、放課後児童支援員の補助者として従事することができます。

研修趣旨・受講目的

平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、保育所や認定こども園、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点など、地域の子育て支援サービスを支える人材が求められています。

本研修は、国が策定した全国統一カリキュラムに基づいて、各コースに共通する「基本研修」とコースごとの特性に応じた専門的内容を学ぶ「専門研修」により構成され、多様な子育て支援分野の担い手となる「子育て支援員」の養成を図ります。

求める受講生

地域において保育や子育て支援等の仕事に関心を持ち、保育所や子育て支援施設などの職務に従事することを希望する方。

研修講師

大学の保育学科等の教員、保育所の園長など



	日程	概要	会場
基本研修	5月~7月 (全2回)	・専門研修に先立ち、全ての方に受講いただきます。 ・修了者は専門研修を受講いただけます。 ・保育士等の資格をお持ちの方は免除されます。	
専門研修 ※3コースより選択	①地域保育コース 7月~11月 (全6回)	小規模保育や家庭的保育(保育ママ)、事業所内保育、一時預かり等の保育士の補助として、また、ファミリー・サポート・センターで提供会員として従事することを希望される方向けのコースです。	[主な開催地] ・京都市 ・長岡京市 ・福知山市 他 ※開催地は選択可能です。 ※コースごとに選択いただける地域は異なります。
	②地域子育て支援コース 2026 11月~2月 (全1~2回)	保育所やNPO、子育て支援団体が行う地域子育て支援拠点(子育て中の親子の交流や育児の相談、情報提供を行う場)で従事することを希望される方向けのコースです。	
	③放課後児童コース 1月~2月 (全2回)	放課後児童クラブ(小学校に通う児童に対し、放課後等に遊びや生活の場を提供する場)で、放課後児童支援員の補助者として、従事することを希望される方向けのコースです。	

- ・上記の概要、会場については、令和6年度の内容を記載しています。本年度の詳細は未定となっておりますのでご了承ください。
- ・本年度の開催につきましては、主催決定次第、「京都府」のホームページ(<https://www.pref.kyoto.jp/kosodate/tatsujin.html>)及び「一般社団法人京都府保育協会(<https://kyotofu-hoiku.or.jp/>)」にて募集開始及び応募受付の告知をいたします。

受講生Voice



- 子育て支援について、初めての私にも大変わかりやすく、とても勉強になりました。
- 子育て支援事業が身近な地域で広がっており、様々な活動があることがわかりました。
- 本研修を受講して、私にもできることがあり、子育ての仕事に就いてみたいと思いました。
- 子育て中の親子の悩みや求めていることがわかり、子育て支援の必要性がよく理解できました。